



奈良地区センター

図書コーナーより



地区センターにお越しになる際は、検温、マスク着用、手指の消毒、また 3密にならないよう、ご協力をお願いいたします。

新しくいった本

- ・ 黙示 キングス紀11
- ・ 小説8050
- ・ オリンピア1936ナチスの森で
- ・ あらゆる不調をなくす毒消し食
- ・ 日本の血脈
- ・ 出紋と花かんざし
- ・ クロウ・ブレイン
- ・ ねじまき鳥クロニクル 第1部～第3部

- ・ スープ屋しずくの謎解き朝ごはん
- ・ レジのひみつ
- ・ グラノーラ・コンフレークのひみつ
- ・ でんせつのきよだいなあんまんをはこべ
- ・ えさがしえほん1 いってきまーす どこどこどこ
- ・ このあしだあれ 他
- 雑誌—
- ・ きょうの料理、趣味の園芸、すてきにハンドメイド

奈良地区センターにあります！

今月のおすすめ本！

まちの本屋さん
昭和書房さん 推薦本



『ぼくのお父さん』
矢部太郎 著

前作の「大家さんと僕」から4年ぶりの新作のパートナーは絵本作家のお父さん。
どんな時も自由で自分の価値観を
しっかり持ちながらも他者を決して否定しない
優しく受けとめるおとうさんに
ホッコリと癒されます。
ちょっとペースダウンしたいときにオススメの1冊です。

この本に出てくる、矢部太郎さんのお父さんの描いた紙芝居が2冊奈良地区センターにもあります。本と同様に貸出しできます。

よみきかせサークル
おはなしのくにさん 推薦本

『もくもくやかん』
かがくいひろし/作・絵

ふだんは台所でじっとしている「やかん」たちが主人公。そんなみんなが集まって体操を始めたかと思ったら…
力を？いえいえ息をあわせて、みんなのためにがんばるやかんたち。いったいどんなお話って？やかんにポット、きゅうすにじょうろが、大きな仕事をするんです。これではますますわからない！？
みなさん、ぜひ絵本を読んでみてください。
「今の季節にぴったり！」と7月のおはなし会で楽しみました。
絵本と一緒に深呼吸したり体に力を入れてふんばったり…思わず笑顔になる一冊です。



奈良地区センター
職員の推薦本

『平安女子は、みんな必死で恋してた イタリア人がハマった日本の古典』
イザベラ・ディオニシオ 著

平安時代、経済的に自立できなかった日本の女性が堂々と仕事できた場所は「宮中」。清少納言や紫式部はバリバリのキャリアだったわけで。そう考えるとただ男を待つだけの女子に意地悪だったり辛辣だったりするのにもプライドのなせる技かと納得もする。
イタリア育ちの著者が紐解く平安文学談義とイザベラ流超訳が面白い一冊です。読むと次には「和泉式部日記」「枕草子」の現代語訳が読みたくなるかも…。



※ペットボトルや水筒についた水滴で本がヨレヨレになってしまったり、お茶やコーヒー等の雫で色のついた状態の本が増えています。地区センターの本はみんなの本です。綺麗な手で大切に扱って下さいね。

★本を借りるには奈良地区センターの貸し出しカードが必要です。お名前とご住所を確認できるもの（保険証・免許証・学生証等）をご持参の上、お申し込みください。即日発行いたします。
ひとり2冊 2週間借りることができます。